

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 18 日

仕 事 の 内 容	流域下水道負担金事務					
担当部署・課長名	下水道	課	庶務	係	課長名	廣瀬 裕

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	4 - 1	-
【施策名】 市街地の整備	総合計画書 (ページ)	83	

予算名	款	1 2	総務費 事業費	項	2	維持管理費 建設事業費	目	1	維持管理費 建設事業費	事業	1	維持管理費 建設事業費	
1 この仕事の目的													
	① 誰(何)を対象にしていますか。							① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	流域下水道施設							①汚水量 → ②②管渠(計画排除面積) ①処理場					
② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]適切に維持管理する。							② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
							①汚水量 → ②②管渠(計画排除面積) ①処理場						
③ そのために何をしましたか。							③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
①維持管理負担金の負担 ②建設負担金の負担							→ ①汚水量報告及び納付 ②納付						

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	①m <sup>2</sup> ②②ha ①箇所	①9,893,835 ②②1,009.2 ①1	①10,168,439 ②②1,009.2 ①1	①9,429,793 ②②1,009.2 ①1	/
	成果指標	②の数値	①m <sup>2</sup> ②②ha ①箇所	①9,893,835 ②②1,009.2 ①1	①10,168,439 ②②1,009.2 ①1	①9,429,793 ②②1,009.2 ①1	/
	目 標	②の目標値					
			目標値設定の考え方				
活動指標	③の数値	①回 ②回	① 4回 ② 4回	① 4回 ② 4回	① 4回 ② 4回		/

3 経費	事業費(実績)		円	424,040,659	442,427,372	408,743,526	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	380,740,659	392,427,372	363,843,526	
		特定財源	円	43,300,000	50,000,000	44,900,000	
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人		0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	826,700	825,300	824,400		
事業費+人件費		円	424,867,359	443,252,672	409,567,926		

この仕事における市の裁量 市の裁量はない

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	①昭和60年度。流域下水道施設の適切な維持管理のため。 ②昭和49年度。流域下水道施設の建設のため。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
特になし		

仕 事 の 内 容	流域下水道負担金事務					
担当部署・課長名	下水道	課	庶務	係	課長名	廣瀬 裕

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	特になし					
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容					
	不明水を抑制し維持管理負担金を抑える必要がある。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	東京都が不明水の調査を実施した。					
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	不明水対策の実施。					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
	流域関連9市と東京都との共通の課題として、不明水対策に向けて検討していく必要がある。					
成 果	(3)改革・改善案による期待成果					
	上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成 果	成果を維持する。			経 費	仕事の経費は維持する。	